

地形

世界一の山がある。

海のほかは、何でもあるぜいたくなまち

八王子

山地から低地まで、海以外のすべてがここにある。

—地域の多様性を生んだ、起伏のある地形—



空を飛ぶ鳥になったつもりで、八王子の東西南北を俯瞰してみましょう。

西は標高800m級の関東山地がせまり、東へと何本もの丘陵が伸びています。市街地の北に加住丘陵、南に多摩丘陵、東には日野台地が位置し、盆地のような形状をつくりだしています。西から東に流れる16の河川が平地をつくり、多摩川へとつながっています。

豊かな水があることから、古代から人の営みが始まり、山がちであったことから、耕作よりも桑を植え、生糸を作る養蚕が貴重な産業となりました。また、山々への入り口である高尾山は、アクセスのよさから、世界一登山客が訪れる山になっています。山地から丘陵地・台地・川沿いの低地まである、起伏の豊かな独特の地形がもたらす恩恵が、八王子の歴史をつくり、今に結びついているのです。

「一言で表せない、何でもある八王子の魅力」は、この地形が生みの親といっても過言ではありません。

源流都市、八王子。

市境を流れる多摩川・秋川を除く、16河川すべての源流が確認できます。50万都市で、ほとんどの川の源流があるまちは、世界的にみて珍しいとか。最初の一滴が立派な川に成長していく物語がいくつも見られるのは、自然に恵まれたまちならではの。